

# 仮説と検証10

アイエンガー教授の話からは、選択することには力があり、人をやる気にさせることも出来ると分かりました。私、現代社会の隅の隅にはアムカリング効果も同調圧力といった人の判断を狩りさせるものもあることが分かりました。私の中を生きとていくうえでよく観察し理解し、視野を広く持った状態で自らの選択をしっかりと行動することが大切であると考えます。 **その通りでいい!!**

2022年から、私自身常に「今の自分と周りの空気が流れていくのか?」と問い続けたらどうなる。  
客観的な視点を持ち

重なりであると思っていたが、私がこの桜美林大学に入学することを「選ん」で、大学に通うことを決めたこと、自分の選択によって生まれた偶然だ。選択の力を説いたシーナ・アイエンガーの話にははじめても共感した。 **Good! その思い**

「選択」についての学びは、自分自身の選択について振り返るいい機会であったと思います。そして、ぜひ、その選択を大事にしたいものです。

この先の人生を決める、良くなるのも悪くなるのも自分の選択によるものだと思えてしまいプレッシャーになる。成功した人が「選択」というものを良いものだと思えるのはその人がその選択によって成功したからなのではないかと思う。

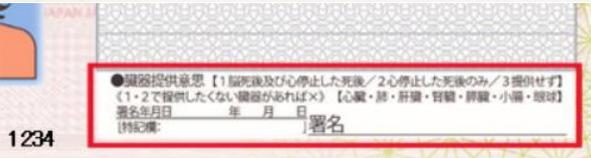
「人は、難しい選択を迫られると選択しない、という選択をしがちである」のは、こういった場面でも適用できそうです。「選択しなきゃ、というプレッシャーが厳しいので選択について考えたくなくなる」というのは、その一面かも。選択に力がある、ということをもっと知るといいのかも。

**偉人の選択は「何」を紹介するの? その通りでいい!!**

しほり先生は、合理的には「何」を紹介するの? とおっしゃる。アムカリング効果ではネット通販などでブラックフラグセールを名乗る。元値が高いものが適切な値段で売られていることもあつた。Y-SHOPでは通販経由でサクワのような人が「こんなに安くなるの?! 私は買いたし」と言ってお客を促している。総じて今回の授業では、人間の行動は

28%だったのが不思議だと最初は思っていたが、オムカウトの形式を今日初めて知って、確かに自分も「臓器提供していい人」という項目を目にした。しほり先生は、**と、わが国にとき、おまじんは、何を選択する?**

日本人に多い気質だと思っていたが他の国でもよくあることなのか疑問に思った。また、これは主観だが昨今のSNSの普及により同調がより顕著となり、不合理な判断をしてしまう場面。人が増えたのではなにかと考えた。



ちなみに、現在の日本ではどうでしょう?

その方法や考え方をうまくつかえるようになれば、お金をかせげたい人はいないかと思いました。

「この授業の隠しテーマは、なぜ学ぶか、である」と初回にお話しました。みなさんは、前回の授業でどのように思ったでしょうか? 私たちは、私たちの選択の傾向を学んだことでどのような変化が生じたのでしょうか?

日本の地方自治体の首長選挙でも、いろいろな事例を見ることができますが、それは、アメリカの大統領選挙でも似たようなことが起こっているわけです。過去にもそんな事例は、海外にもたくさんあります!